

令和 6 年度版

病 院 年 報

第 49 卷



越谷市立病院

— smile, safety, satisfaction —

令和6年度病院年報発刊にあたって

院長 坂 本 一 博

2015年から10年にわたり越谷市立病院の院長を勤められ、病院の発展に貢献されてきた丸木 親先生がご退任となり、2025年4月より院長を務めさせていただくことになりました坂本です。昨年3月までは、順天堂医院において大腸肛門外科の科長として、また副院長として勤務していました。

本邦では2020年から始まった新型コロナ感染も約6年が経過し、日常社会はコロナ感染前の生活に戻ってきています。しかし、すべてが以前と同じというわけではなく、社会生活において様々な変化がみられています。企業ではリモートワーク、オンライン教育やキャッシュレス決済などを含めデジタル化が進んできました。また、ほぼ同じような時期に起こった国際情勢や社会環境の変化から、原材料費・エネルギー価格の高騰、人件費の上昇がみられるようになり、急速な物価上昇が社会生活を圧迫してきています。

医療に目を転じると、患者の受療動向にも変化がみられ、医療機関における外来受診患者はコロナ感染前には戻らず、減少がみられるようになりました。また、コロナ関連の補助金も廃止され、人事院勧告に準じた人件費の引き上げ、急激な物価高騰、光熱水費・医薬品・医療材料費の上昇により、医療収入を上回る医療経費のため、全国の病院の経営状況の悪化が報告されています。自治体病院では、令和6年度は86%の病院で赤字となり、当院もこの厳しい経営状況に直面しています。政府には、物価上昇分に対する医療への援助を、緊急支援あるいは令和8年度の診療報酬に必ず盛り込んでほしいと考えます。

一方、当院においても我々自身の手で、経営の改善に取り組む必要があります。令和7年度は、「医療連携の強化」と「救急医療の強化」を目標に経営改善に取り組んできました。令和6年に当院は「紹介受診重点医療機関」の認可を受け、かかりつけ医である近隣の医療機関から紹介いただいた患者さんを外来で診察するようになりました。外来で必要な検査を行い、軽症の場合にはかかりつけ医に逆紹介で戻すようになります。しかし、重症度

の高い患者さんに対しては、入院により専門医的な検査・治療を行う必要があります、入院治療のウェイトが高くなります。従って、当院では「救急外来」あるいは令和7年10月に開設した「地域ホットライン」からの患者対応が重要であり、この努力の積み重ねが当院の経営改善にも繋がると考えています。

当院は、地域の急性期基幹病院であり、様々な疾患に対する標準治療や低侵襲治療が中心となります。しかし、高齢者やフレイルの患者さんが増えていることも事実であり、患者さんの状況にあった検査や治療が必要であり、各診療科との連携も重要です。そのような観点から、この年報による各部署の実績に目を通し、患者さんや地域からのニーズに答えられるように、病院全体として取り組んでいきたいと思ひます。

病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、自治体病院の使命である地域における行政、医療機関、介護施設等との連携、地域に必要とされる医療の公平、公正な実施、地域の健全な発展への貢献を果たすため、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

- 私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。
- 私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。
- 私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定

令和5年2月1日改定

基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術で、高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、責任ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定

平成30年4月1日改定

令和5年2月1日改定

目 次

第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	13
(4) 配置図等	17
(5) 病院機構図	19
(6) 施設の概要	21
(7) 主要医療機器等一覧	23

第2章 令和5年度業務

第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	27
(2) 財務に関すること	29
(3) 業務の委託	37
(4) 光熱水費の状況	39

第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	40
(2) 診療報酬に関すること	45
(3) 院内死亡数及び解剖数	46
(4) 臨床検査科業務	47
(5) 薬剤科業務	50
(6) 栄養科業務	55
(7) 放射線科業務	57
(8) 内視鏡室業務	64
(9) 手術室業務	65
(10) リハビリテーション科業務	66
(11) 臨床工学科業務	69
(12) 看護部業務	70
(13) 緩和ケア業務	74

第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	75
(2) 著書及び論文発表	84
(3) 令和5年度ガス・メス納め集会より	
1) 麻酔科 麻酔科・手術室手術統計	85
2) 循環器科 循環器科年次報告	86
3) 外科 外科手術統計	87
4) 整形外科 整形外科手術統計	88
5) 脳神経外科 脳神経外科手術統計	90
6) 泌尿器科 泌尿器科手術統計	91
7) 産科・婦人科 産科・婦人科手術・分娩統計	92
8) 眼科 眼科手術統計	93
9) 耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科手術統計	94
10) 小児科 小児科入院統計	95
11) 臨床検査科・病理診断科 病理・細胞診・解剖統計	96
案内図	98